

## 2021年2月の金融経済概況のポイント

### ■景気の基調判断

- 今月の基調判断は、「新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きが足踏みしている」と、前回の「新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、持ち直しのペースが鈍化している」から下方修正しました。下方修正は、2か月振りです。
- 需要項目ごとの判断は、個人消費について、「低い水準となっており、持ち直しの動きが足踏みしている」と下方修正しました。その他の項目には、変更はありません。
- 雇用や金融面については、前回と同じ判断です。労働需給は、弱めの動きがみられており、金融面は、預金、貸出とも前年より増加しています。

### ■個人消費の動向

- 大型店売上高は、1月、ほぼ前年並みとなりました。引き続き、新規感染者の発生がみられる中で、外出に慎重となる動きが続いており、来店客数は低めの水準に止まりました。衣料品は低調が続いているものの、巣ごもり需要を背景に日用品、食料品は、底堅い動きを維持しています。また、家電販売は、白物が堅調であるほか、テレビ、電子レンジ等が好調に推移しており、全体として堅調な動きとなっています。
- 1月の新車登録台数は、除く軽が前年を幾分下回りましたが、軽自動車、軽自動車を含めた合計は、前年を上回りました。合計は、4か月連続のプラスです。もっとも、持ち直しのペースは、鈍化しています。自動車ディーラーの店頭では、新規感染者の発生が続く中で、来客数は、少し持ち直

した後、概ね横這いとなっており、販売面への影響が懸念されるところで  
す。

## ■観光の動向

- 道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数をみると、1月、感染症の影響が引き続きみられるもとで、全ての空港で前年を大きく下回り、全体でも前年を大きく下回りました。12か月連続の前年割れです。1月は、まる1か月間、GoToトラベル事業が全国で停止された影響から、前月に比べ、マイナス幅が拡大しました。この間、旭川空港の国際線の就航便数は、1月は11か月連続で定期便、国際チャーター便ともにゼロとなりました。
- ホテル・旅館宿泊客数は、1月、いずれの地区でも前年を大きく下回りました。感染症の再拡大やGoToトラベル事業の停止を受け、新規予約が低調となる中、引き続きキャンセルの動きもみられ弱い動きとなっています。旭川市内のホテル客室稼働率も、1月、前年を大きく下回りました。こちらも1月は、前年とのマイナス幅が引き続き拡大し、弱い動きとなっています。
- 各地観光施設の入込みは、1月、ウェイトの大きい旭山動物園、層雲峡地区、ウトロ温泉、博物館網走監獄、利尻・礼文フェリーとも前年を大きく下回ったことから、合計でも前年を大きく下回りました。GoToトラベル事業の全国停止などを受けて、弱い動きとなっています。

## ■公共投資の動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局における公共工事請負金額は、1月、宗谷、オホーツクが前年を大きく上回ったことに加え、上川も前年を上回ったことから、全体でも前年を大きく上回りました。2020年4月以降、1月までの累計では、宗谷、オホーツクが前年を大きく上回った

ほか、上川も前年を上回ったことから、全体でも前年を上回っています。

## ■住宅着工

- 新設住宅着工戸数は、12月、貸家が前年を下回ったものの、持家、分譲が前年を上回ったことから、全体でも前年を上回りました。基調としては、持家が振れを伴いながらも徐々に持ち直しているほか、貸家は高めの水準となっています。分譲は概ね横這い圏内の動きとなっています。

## ■雇用

- 雇用状況は、弱めの動きがみられています。有効求人倍率は、12月、旭川、稚内、北見、網走の全てで前年を下回りました。旭川は引き続き1倍を下回ったものの、稚内、北見、網走が1倍超えとなったことから、全体では6か月連続の1倍超えとなりました。新規求人数は、12月、稚内が前年を下回ったものの、旭川が前年並みとなったほか、北見、網走が前年を上回り、この結果、4つの職業安定所を合計した新規求人数でも、15か月振りに前年を上回りました。

## ■金融動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局管下における金融機関貸出残高は、1月、前年を上回りました。1月まで23か月連続で前年を上回っています。

## ■今後のポイント

- 今後、道北地域の経済を見ていく上では、引き続き、感染症の帰趨とその影響がポイントになると考えます。先行きは、感染症再拡大の影響が徐々に和らぐことで、緩やかな持ち直しに復していくとみられますが、不確実性は高く、下振れリスクには注意が必要です。具体的には、①感

染症再拡大の影響が長引く中、下押し圧力を受けている観光、消費の動向、②雇用、所得、企業収益や設備投資計画への影響、③公共工事について、人手不足の問題を抱える当地建設業者の受注への影響、といった面に注意を払いたいと思います。

以 上